

産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和3年8月26日(木曜日)

午前10時 0分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前10時33分 散会

付託事件

(1) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 報告事項

(第3回定例会提出予定案件)

① 水戸市森林公園に関することについて (農政課)

② 水戸市公設地方卸売市場に関することについて (公設地方卸売市場)

③ 第54回水戸の萩まつりについて (観光課)

④ 水戸地方農業共済事務組合の合併協議について (農政課)

(2) その他

2 出席委員(7名)

委員長	飯田正美君	副委員長	後藤通子君
委員	小泉康二君	委員	渡辺政明君
委員	内藤丈男君	委員	五十嵐博君
委員	安藏栄君		

3 欠席委員(なし)

4 委員外議員出席者(1名)

議員 田中真己君

5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長 田尻充君

産業経済部長 鈴木吉昭君 産業経済部参事 川崎幹男君

産業経済部参事兼商工課長 長谷川昌人君 産業経済部技監兼農政課長 深澤和広君

観光課長 小林一仁君 公設地方卸売市場長 宮田正一君

消防局長 小泉直紀君 消防次長 大内康弘君

消防総務課長 猿田純夫君

6 事務局職員出席者

書 記 大 内 し お り 君 書 記 島 田 祐 輔 君

午前10時 0分 開議

○飯田委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業消防委員会を開会いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症予防対策といたしまして、本日の執行部の出席は最小限にとどめることとしておりますので、あらかじめ御了承願います。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、報告事項の説明を行います。

本日の報告事項は4件でございますが、日程中(1)及び(2)の2件につきましては、いずれも第3回定例会に提出が予定されている案件でございますので、本日は説明を行うにとどめ、質疑は付託後に行いたいと思っておりますので御了承願います。

それでは、初めに、水戸市森林公園に関することについて、執行部より説明願います。

深澤技監兼農政課長。

○深澤産業経済部技監兼農政課長 水戸市森林公園に関することについて、農政課提出の資料に基づき御説明をいたします。

1の改正理由でございますが、森林公園自然環境活用センターの集会室について、施設の有効利用及び森林公園とその周辺地区における魅力の向上に向け、民間活力の導入を図るため、当該集会室を廃止し、あわせて関係規定の整備を行うものでございます。

2の主な改正内容でございますが、森林公園の有料施設から自然環境活用センターの集会室を削除するものでございます。

3の施行期日は、令和4年1月1日でございます。

2ページをお開きください。

こちらは、新旧対照表となっております。表の左側が現行、右側が改正案、網かけ部分が改正箇所でございます。2ページは全て文言の整理でございます。

3ページを御覧ください。

別表の一番下の行、網かけ部分が主な改正内容として御説明をいたしました自然環境活用センター集会室の削除に係る部分でございます。

4ページを御覧ください。

こちらは、参照条文となっております。

5ページを御覧ください。

こちらは、自然環境活用センターの位置図でございます。図の上部の吹き出しで記載のある建物が自然環境活用センターでございます。

6ページを御覧ください。

こちらは、自然環境活用センターの平面図となっております。太枠で囲んだ部分が集会室でございます。現状は和室となっておりますが、施設の老朽化などから、ここ数年の利用申請件数は年1回程度と、ほとんど利用されておられません。このため、一般の来園客が利用できる有料施設としては廃止し、今後は森林公園

とその周辺地区の魅力づくりに資する事業を計画する民間事業者を年内にも公募し、長期に貸し付けてまいりたいと考えております。

なお、今回の案件につきましては、令和3年第3回水戸市議会定例会に議案として提出する予定でございます。

説明は以上でございます。

○**飯田委員長** 次に、水戸市公設地方卸売市場に関することについて、執行部より説明願います。

宮田公設地方卸売市場長。

○**宮田公設地方卸売市場長** 水戸市公設地方卸売市場に関することについて、公設地方卸売市場提出の資料により御説明いたします。

1の改正理由でございますが、新たに整備した青果荷捌所につきまして、使用料を設定するため、関係規定を整備するものでございます。

2の主な改正内容につきましては、市場施設の使用料に青果荷捌所施設使用料に関する規定を追加するものでございます。

3の施行期日につきましては、令和3年10月1日とするものでございます。

2ページに新旧対照表、3ページに配置図、4ページに立面図、5ページに現況写真を添付してございますので、後ほど御参照ください。

説明は以上でございます。

○**飯田委員長** 以上で、第3回定例会提出予定案件の説明は終わりました。

この際、資料の請求がございましたら発言を願います。

小泉委員。

○**小泉委員** 資料請求ということなんですけれども、この森林公園のほうの話で、資料は平面図と位置図ぐらいしかありませんよね。何かもう少し詳細が分かるような資料がもしあればお願いしたいなと思ったんですけども、特にそういうのはないですか。

○**飯田委員長** 深澤農政課長。

○**深澤産業経済部技監兼農政課長** 内部の写真の用意ができればつけるようにいたします。

○**飯田委員長** ただいま小泉委員から請求のありました資料につきまして、委員会として執行部に対し、提出を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**飯田委員長** それでは、付託後に開催されます委員会に資料提出を願います。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**飯田委員長** ないようですので、次に、第54回水戸の萩まつりについて、執行部より説明願います。

小林観光課長。

○**小林観光課長** それでは、観光課提出の資料に基づきまして、第54回水戸の萩まつりについて、御説明を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中ではございますが、現時点におきましては、祭りの開催が可能と
いうような状況であることを前提に、感染症対策をしっかりと講じた上で開催してまいりたいと考えており
ます。

水戸の萩まつりにつきましては、四季観光の一環としまして、日本遺産であります偕楽園におきまして、
本市の観光資源や魅力をPRするとともに、イメージアップを図ることを目的に開催してまいります。

期間でございますが、本来でありますと9月4日土曜日から26日日曜日までの23日間での開催を予定
しておりましたが、国の緊急事態宣言の発令等を踏まえまして、9月13日月曜日から26日日曜日までの
14日間としまして、期間を短縮しての開催を予定しております。

次に、6の行事でございますが、主なイベントといたしましては、こちらの表に記載しておりますとおり、
期間中の土日、祝日の取組といたしましては、萩の花をライトアップしまして、夜の萩、夜の偕楽園をお楽
しみいただきたいと考えております。

また、今年度におきましても、19日日曜日の1日にイベントを集約しております。家族連れや若い世
代の方々にも御来園いただくため、園内を散策するラリーイベントや、浴衣やキャンドルを活用した体験イ
ベント、ちょうちんの貸出し、販売、水戸一高の吹奏楽部による音楽ステージなどを実施してまいります。

なお、例年でありますと、秋の風情のある偕楽園を舞台としまして、野点茶会などを開催しておりますが、
団体の皆様との協議の上、中止としてございます。

恐れ入りますが、裏面を御覧いただきたいと思います。

7の広報につきましては、ポスター掲示のほか、ホームページやSNSなどの活用を図りましてPRに努
めてまいります。なお、チラシにつきましては、体験イベントの割引券つきとして作成し、誘客を図ること
としております。

次に、8の今回の見どころ等でございます。

御説明申し上げましたとおり、緊急事態宣言等の発令の状況次第とはなりますが、主なものといたしまし
ては、9月18日土曜日と19日日曜日の2日間、偕楽園と一張一弛の関係にあります弘道館を結ぶ観光漫
遊バスを運行しまして、本市の新たな観光資源であります水戸城大手門や二の丸角櫓といった水戸ならでは
の魅力をPRしてまいります。

また、中段になりますが、19日日曜日には浴衣や着物を着用して園内を散策できる体験をはじめ、子ども
簡単に制作できるキャンドル体験やクラフト体験など、各種体験イベントを通じて若い世代の誘客を図り、
幻想的な園内を満喫していただきたいと考えております。これにあわせまして、ちょうちんの無料貸出しを
行い、園内を散策いただくとともに、伝統工芸品の水府提灯を広く周知してまいります。

なお、まつりの開催に当たりましては、期間中を含めまして国や県の動向を注視することはもちろんのこと、
下段にも記載しておりますとおり、手指消毒液の設置、会場内でのマスク着用の徹底、いばらきアマビ
エちゃんへの登録をはじめ、対策を講じた上で安心、安全なまつりの運営に努めてまいります。よろしくお
願いいたします。

説明につきましては、以上です。

○飯田委員長 内容について、何か御質問等がございましたら発言をお願いします。

小泉委員。

○小泉委員 数点ちょっと質問をさせていただきます。

まず、予算書を持ってきていないのであれなんですけれども、萩まつりの予算としてはどういった規模でしたっけ。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの小泉委員からの萩まつりの予算に関しての御質問でございますが、今年度予算につきましては全体で約220万円でございまして、水戸市からの補助ということで200万円を計上し、承認をいただいております。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 ありがとうございます。当初の日程のほうというのは、今回、緊急事態宣言もあってということもあると思うんですけれども、例年ですとどういった形でしたっけ。

○飯田委員長 小林課長。

○小林観光課長 ただいまの小泉委員からの期間に関する御質問でございますけれども、当初は、9月4日土曜日から26日日曜日までの23日間での開催を予定したところでございますが、御説明申し上げましたとおり、緊急事態宣言等の発令を踏まえまして、この期間を除き13日から26日までの14日間としたところでございます。例年、23日から25日ぐらいの期間で開催をしているところでございます。よろしくお願ひします。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 そうしますと、広報物関係に関しては、日にちのほうは今回の日程が載っているのか、訂正になっているのか、どんな感じなんですか。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 チラシ、ポスター等につきましては、こういった事態が起きてしまいましたので、本来でありますと、本日チラシのほうを御参照いただける予定でございましたが、日程のほうの修正をかけておりまして、本日には間に合いませんでしたが、何とか印刷のほうを間に合わせて早めにお配りしたいというふうに考えております。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 本当にこういった時世でありますので、そういったところは大変御苦勞をなさっているんだと思います。初版でつくらずに、ぎりぎりまで待ってその日にちを載せて、今、印刷にかけているという話なわけですよ。承知しました。

大変な御苦勞の中で検温等も実施するというので、検温も人が立って一人一人やるという話なんですよ。ですので、この間のあじさいまつりもそうでしたけれども、細心の注意を払いながらこのイベントをやるというのは、やっぱりにぎわいを見せたというのも伺っておりますし、あと人々の、市民の皆さんの気持ち的にも違うものもあると思いますので、ぜひ安全にやっていただきたいというふうにも思うのが1点です。あとは今、私はひたち海浜公園のほうのメールマガジンの会員になっていて、この間新聞で、たしか読売新聞でしたけれども、数日前に芸術館でもオンラインで魅力を発信しているというようなのがあったと思うん

です。本来このお祭り関係、萩まつりとかに関しましては、性格は2つくらいあると思っていて、多くの方々にこの水戸にお越しいただいて萩まつりを見ていただく、そして、それを契機に人のにぎわいを創出して、観光誘客として貴重なお金も落とさせていただきたいという思いが1つと、あとやはり、本来この自然を有する水戸の偕楽園公園の魅力を発信するという要素もあると思います。コロナ禍も2年目になってきておりますので、やはり人に来ていただくだけでなく、オンラインとかを活用して萩の様子を発信するとか、それも一つ水戸市の大きな魅力につながっていきますし、アフターコロナになったときには、ぜひそれを見に行きたいというふうになっていただければ、今後のにぎわい創出にまたつながってくると思います。デジタル技術等もうまく駆使して、これは観光コンベンション協会が主催ですので要望という形にはなるんですけども、ぜひその魅力をですね、海浜公園だったら今ちょうどコキアが非常に見頃ではありますが、人を入れられないという状況で、それをオンラインで日々配信して、見たい方に関しては360度カメラで見られるみたいな形をやったりもしておりますので、いいものは取り入れてやっていければと思いますので、ぜひ検討していただければと思います。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 萩まつりの報告ありがとうございます。第54回ということで回数を重ねてきているということは、これ担当課にとっては大事な、いわゆる歴史の積み重ねというのは大事だとずっと、それもお話してきました。今後、水戸市の観光というのは、やはり通年型というものを大きなテーマとして掲げないと、萩まつり、梅まつりという季節限定のじゃなくて、通年来てもらうにはどうしたらいいんだろうかということの中に組み込んでいかないと。ただ単に萩を見に来てください、楽しんでもらえればいいんだということではなくてね。要は、それを通して通年型にどう切り替えていくのか、どういうアプローチをしていくかということをやっぱりテーマとして掲げてもらいたいということです。それが1点です。よくできているんですけどもね。

それをちょっと踏まえながら、鈴虫をよく放虫していますよね。それは今年はどうなんですか。ここどころ、ちょっと鈴虫の話題をメディアなども取り上げていないんだけれども。やっぱり、萩と鈴虫というのは日本の文化を発信する上においては、非常にいい素材であるなどと思ってはいたんですけども。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの渡辺委員からの通年でのイベントの重要性とともに、行事中での鈴虫の放虫に関する御質問でございましたけれども、昨年度も予定をしておりましたが、鈴虫の放虫をやっていたいいる笠間市の団体様と協議しまして、何分高齢化が進んだり、またメンバーの健康状態等も勘案しまして、今年度も実現には至らなかったというところでございます。引き続き、日本庭園とセットというところもございまして、何十年も続いてきた恒例行事でございますので、何とか伝承できるように取り組んでいきたいというふうに考えております。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 まあ、鈴虫を成長させるというのは大変だと思うんですよ。今まで、一つの話題づくりとして

は大変よかったのかなと思っていたので、メンバーが高齢化しているということもあるので、今後どういうふうにしていったらいいのかということで大変苦労もあると思うんですけども、よくそういう団体と話し合いをしながら、鈴虫などの放虫をしていければいいのかなと思っています。

それで、今回の見どころ等と書いてあります。それでバスを回すんだということで、弘道館・水戸城跡周辺地区との回遊性を高め、一弛一急の関係にある弘道館とともに水戸ならではの魅力をPRし、相乗効果を図るということなんだけれども、むしろ俺なんかは今、この一弛一急の思想、いわゆる考え方に基づいて、偕楽園のほうが一弛のほうで、一急のほうは弘道館周辺ですよ。事業内容を見ると、要は偕楽園に特化しちゃっているんだよね。もうそういう発想はやめて、もっとエリア的な考え方、大手門もライトアップしているし、また400メートルの土塁塀もライトアップしていると、また、夜の景観形成ということで大変いろんな方が来ていると、若いお兄ちゃんたちもアメ車で来て写真を撮ったりしているということなので、こっちも例えば浴衣着て歩いてもいいし、ちょうちん貸して歩いてもいいし、ライトアップしてあるわけですから。何で偏っちゃうのか、もっとエリアを広げて、いわゆる通年型というものをぜひ考えていってほしいんですよ。言葉で書くのは簡単だよ、相乗効果を高めて云々。でも具体的な取組をしないと、魅力を発信するならばそれなりの仕掛けをしてほしいということですよ。おもてなしもこれ、どういうふうになっているんだか分かりませんが、おもてなしをどうのこうのと書いてあるけれども、何をやるんだかも分かんないし、人力車だってあの辺、昼間何かのイベントのとき走ってました。いろんなことが考えられると。そういうものを含めてきちっと、例えばチラシとかポスターについても通年型というものを意識したような、そういうレイアウトとかデザインにしていかないとまずいかなと思います。ただ単に萩まつりと言ったら、54回もやっているから、前例を見れば同じようなポスター、いろんなのが出てくるわけだ。それと同じようなものをつくっているんじゃないかと、新たな仕掛けをしてほしいということ、エリアを広げてやってほしいんですよ、視点を広げてね。だから一つのをやるにしても、やっぱりその先にある目的意識を明確にして取り組んでいただきたいということを強く要望しておきます。

○飯田委員長 要望ということで。

○渡辺委員 いいですよ、要望で。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 第54回の水戸の萩まつりにつきまして、コロナ禍の中で期間を短縮してでも開催していただけたということはありがたいなと思っておるんですけども、今回も9月4日からだったのが、国の緊急事態宣言によりまして13日から開催ということなので、万が一、この緊急事態宣言が延長になったときにはどのようにされるのか、ちょっとお聞きします。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの五十嵐委員からの緊急事態宣言等を踏まえた開催の可否に関する御質問でございますけれども、現時点での予定としましては、先ほど申し上げましたとおり19日日曜日に各種イベントを集約した形での開催ということで考えておりますので、仮にこの19日が緊急事態宣言の期間に重なってくる、入ってくるという場合にはやむを得ず中止という決断をする方針を固めております。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 分かりました。

まあどうなるか分かりませんが、その場合、チラシ等も出回っていますから、ホームページか何かできちんと対処をされるのでしょうか。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 万が一、やむなく中止の判断をした場合の対応といたしましては、ホームページやツイッター、ブログ、フェイスブックなどのSNSなども活用しまして、速やかに、適正に周知を図ってまいりたいと考えております。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 全員がそれを見ているわけじゃないので、もし万が一来た場合のために、会場には、そのときにはきちんと対応はされるんですよね。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 五十嵐委員からの再度の御質問でございますけれども、これは偕楽園が開園をしていけばということになりますが、もちろん現場での周知もさせていただきたいというふうに考えております。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 ないようですので、次に、水戸地方農業共済事務組合の合併協議について、執行部より説明願います。

深澤技監兼農政課長。

○深澤産業経済部技監兼農政課長 それでは、水戸地方農業共済事務組合の合併協議について、農政課提出の資料に基づき御報告をさせていただきます。農政課提出の資料を御覧ください。

本件につきましては、7月の委員会において、県内4組合等による協議の枠組みについて御報告をさせていただきました。この協議が進み、今月末に合併予備契約の調印が予定されておりますので、今回はこれまでの協議の主な内容について、御報告をいたします。

1の茨城県農業共済4組合等合併推進協議会における協議の主な内容のうち、(1)合併により設立される新組合についてでございますが、①合併する組合等は、水戸地方農業共済事務組合、茨城北農業共済事務組合、県央南農業共済組合、茨城県みなみ農業共済組合の4組合等でございます。②合併の期日は、令和4年4月1日、③合併方式は、新設合併、④新組合の名称は、いばらき広域農業共済組合、⑤組合の区域は、4組合等の現在の管轄区域である21市7町2村でございます。⑥新組合の所在地は、本所が水戸市小吹町940番地、支所は水戸市、笠間市、常陸太田市、つくば市、出張所は常陸大宮市、高萩市、家畜診療所は小美玉市となっております。

次に、(2)合併予備契約につきましては、(1)の内容を含む合併予備契約が今月30日に調印の予定でございます。

資料裏面を御覧ください。

2の水戸地方農業共済事務組合及びその構成市町における協議の主な内容でございますが、①解散期日は令和4年3月31日を予定しております。②財産処分の方針につきましては、1点目、建物等を除く財産

(公用車、備品、出資金・拠出金等)は全て新組合に引き継ぐ。2点目、建物等は茨城町に帰属する。ここでの建物等とは、現在の事務組合の事務所、車庫等でございます。③職員の処遇につきましては、1点目、新組合での雇用を確保、この上で2点目、市町への帰属を希望する職員4名については、構成市町各1名の採用を検討いたします。なお、事務組合の解散及び財産処分につきましては、構成市町の議会における議決をいただく必要がございます。このため、本年12月の議会への議案提出に向け、構成市町及び水戸地方農業共済事務組合では財産の精査等の準備を進めているところでございます。

説明は以上です。

○飯田委員長 内容について、何か御質問等がございましたら発言を願います。

小泉委員。

○小泉委員 ちょっと簡潔に質問させていただきます。

合併協議が進んだということで、裏面2ページの2の③になるんですけども、まず、職員の処遇のところで、全体の今の職員人数が何名なのか。あと、この4名の帰属を希望する方の中に、本市を希望する方がいるのかというのをお聞かせいただければと思います。

○飯田委員長 深澤技監兼農政課長。

○深澤産業経済部技監兼農政課長 全体の職員数は全部で16名というふうになってございます。うち水戸市を希望する者が1名と伺っております。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 それぞれの方の思いがあるんだと思うんですけども、どうなのでしょうね。帰属を希望する、推察になりますけれども、どういう理由なんですかね。この16名以外にもこの新しい合併後の組合として新規で雇用したりというのはあるんですか。

○飯田委員長 深澤技監兼農政課長。

○深澤産業経済部技監兼農政課長 ただいまの御質問でございますが、申し訳ありません、個人が水戸市を特に希望する理由等は伺っておりません。2点目についても、詳細は存じておりませんので、よろしく願いします。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 一応、水戸市在住なのでしょうね。もちろん、水戸市以外からでも水戸市の職員にはなれるけれども、在住とかというのは、特に分かりますか。どうですかね。

○飯田委員長 深澤技監兼農政課長。

○深澤産業経済部技監兼農政課長 4名については水戸市の在住の方もいらっしゃいますけれども、どこの市町村を希望されているかというのは現在調整しております、水戸市を希望されている方は、今の調整段階で、私が伺っている範囲では水戸市の方ではないということです。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 深澤技監兼農政課長。

○深澤産業経済部技監兼農政課長 先ほどの小泉委員の職員数に関する御質問でございますけれども、最新

の令和3年4月1日現在で13名でございました。訂正させていただきます。申し訳ありませんでした。

○飯田委員長 それでは、次に、その他に入ります。委員より何かございましたら発言を願います。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 ないようですので、それでは、以上をもちまして、本日の産業消防委員会を散会します。
御苦労さまでした。

午前10時33分 散会